

令和3年度

新年度あいさつ

七宗町長 加納 福明



この度、皆様方のご支持を賜り七宗町政を担うことになり、時間の経過とともにその責任の重大さを感じていますが、町民の皆様の声に幅広く耳を傾け、ともに幸福で明るい活気ある町づくりを進めてまいりたいと思っております。

さて、新型コロナウイルスの感染状況は日々刻々と変化し、収束の目途もたっていませんが、ワクチン接種による集団免疫で感染拡大防止に期待するところであります。当町においても、ワクチン接種がスムーズに行えるよう、急ピッチで準備を進めている状況にあります。

そんな中で、令和3年度がスタートしましたが、選挙中に私がお示しました町づくり施策の実現に向けて、全力で取り組んでいく所存であります。

町職員の優れた能力を生かすために、自由に意見が言える環境を職員とともに構築してまいります。また、4月から副町長を置かずに参事制を採用して職員より参事を起用し、人件費の節約を行うとともに、七宗町では初めての女性管理職を登用する人事を行ったところであります。こうしたことから、職員のモチベーションをアップさせ町づくりの原動力を強化してまいります。さらに、職場における改善提案制度を導入して、職場環境や事務効率の改善を進め、職員はもちろんのこと役場へ訪れる町民の皆様にご気持ちのよい環境と、最小限のお時間で用事が済ませることのできる職場づくりを進めてまいります。

そして、町民のアイデアを行財政運営に積極的に取り入れることができるように、役場やコミュニティーセンターなどの公共施設にアイデア箱を設置してまいります。

現在事業が進捗しております、主要地方道可児金山線バイパス事業が早期に完成できるようスピード感を持って推進するとともに、主要地方道富加七宗線の改良が早期に着手できるよう、関係機関に働きかけるなど、住民の生活基盤の整備を進めてまいります。また、駅前周辺整備についての具体的な計画策定、河川公園の整備などによる町民の憩いの場と集客の整備を検討し、町の活性化を図ってまいります。

当町での新型コロナウイルスのワクチン接種は、5月11日より84歳以上の高齢者の接種を皮切りに、その後、ワクチンの入手状況に応じて、順次年齢を下げて接種を行ってまいります。また、豪雨時に昼夜を問わず河川状況がスマートフォン等で確認がで

きるように、防災カメラの更新を検討し、住民が自ら危険を察知できる防災環境の整備に努めるとともに、国道41号、主要地方道可児金山線の豪雨時の規制区間の解消に向けて現在進められている事業の促進など、安全安心な町づくりを推進してまいります。

町づくり事業活動(地域資源の活用、地域の環境美化の維持、特産品の開発等)に対する助成制度を、既存制度の見直し等も含め、助成額の増額や活用しやすい枠組みを構築し、活動団体を強力に支援できる体制づくりに着手してまいります。

町外の児童生徒との交流と町内の児童生徒数の増加を目指して、山村留学生の受け入れを強力に進めてまいります。本町の強みでもある「全国中学生創造ものづくり教育フェア」での上位入賞等の実績を積極的にアピールし、他町村との差別化を図ってまいります。また、学校統合については、地域住民の皆様のご意見には当然耳を傾けなければなりません。保育園・小中学校の保護者の皆様や乳幼児の保護者の皆様等のご意見を最も尊重すべきと考えておりますので、次世代の子供達が希望の持てる将来の学校方針を決定してまいりたいと考えております。

障がい者・高齢者にやさしい、安心して暮らせる福祉の町づくりを進めてまいります。障がい者や高齢者、介護をされる皆様の目線に立ち、困っていることや悩まれていることなどの課題を洗い出し、それらを解決できるような町独自の助成と支援を行ってまいります。

少子高齢化や若者の転出により難しくなりつつある、歴史ある文化や伝統を次世代へ受け継ぐための仕組みを考えていかなければなりません。神洲神社の例大祭や赤池弁財天祭、各地区に残る祭りや山の講であったり、節句や節分、朴葉すし等の郷土料理などを絶やさない方策を町民の皆様と考えていきたいと思えます。また、婦人会などがなくなってしまった現在では、若い世代が大釜や大鍋での煮炊きができず、災害時等に炊き出しができないなど地域のコミュニティの保持も課題となってきた現状についても、考えていかなければなりません。小さな町だからこそできる、大切に守り続けていく方策を考えていきたいと思えますので、町民の皆様のご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

以上の施策を強力に推進するとともに、日々の研鑽を重ね、町づくりに全身全霊を注ぎ、町政の執行にあたってまいりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年3月21日執行

七宗町長選挙の結果をお知らせします。

候補者氏名	得票数
井戸 けいじ	1,178票
加納よしあき	1,250票

当日有権者数	3,198人	
内 訳	男	1,513人
	女	1,685人

投票数	2,454人	
内 訳	男	1,146人
	女	1,308人

有効投票	2,428票
無効投票	25票
不受理・持ち帰り	1票

投票率	76.74%	
内 訳	男	75.74%
	女	77.63%

過去3回分の七宗町長選挙の投票率

平成21年3月22日執行	男：80.71%	女：83.46%	計：82.15%
平成25年3月17日執行	男：77.90%	女：79.47%	計：78.73%
平成29年3月19日執行	男：76.48%	女：76.16%	計：76.31%

七宗町議会議員補欠選挙は無投票となりました。当選者は次の方です。



- 氏 名/上野 和義
- 地 区 名/寺洞
- 当選回数/3回



- 氏 名/市川 裕隆
- 地 区 名/中麻生上
- 当選回数/1回

令和3年度

予算概要

一般会計
当初予算

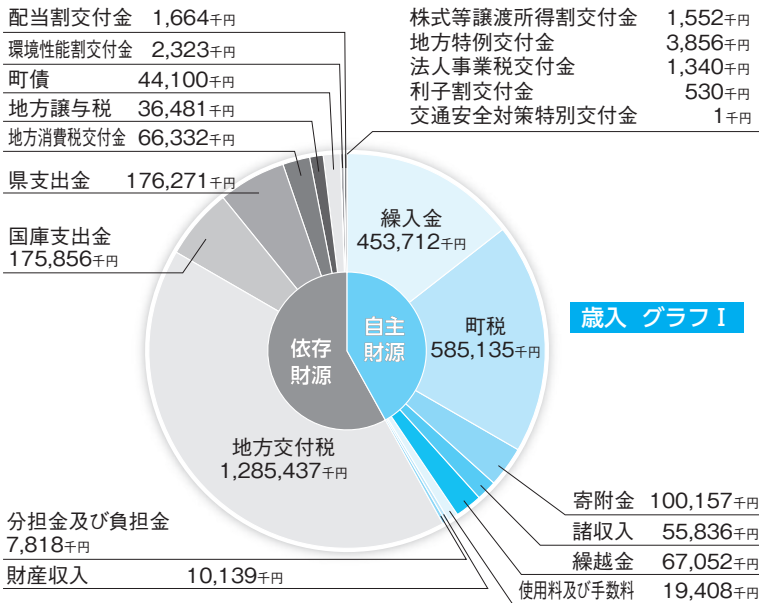
30億9,500万円

昨年度から世界的に流行している新型コロナウイルス感染症の影響を受け、製造業やサービス業に景気下押しの影響が広がり、雇用情勢の回復も見込めず極めて厳しい状況にあります。

こういった状況の中、今後の経済に対する不安が改めて高まり、景気後退局面に入っているとの懸念が強まっています。

こうした中ではありますが、本町の令和3年度一般会計当初予算総額は、対前年度から1億7,100万円減少し、歳入の中心で国から配分される地方交付税が総額の41.5%を占め、自主財源と呼ばれる町民税や固定資産税などの町税が総額の約18.9%を占め、いずれも前年度並みとなりました。

令和3年度 一般会計予算・内訳



歳入 歳入の地方交付税は、対前年度と比べて約1,100万円増(0.9%増)を見込み、全体の41.5%となりました。町税は、家屋や償却資産の増減等により約770万円減(1.3%減)を見込み、うち町民税は、景気の影響等から1.2%減、固定資産税は、1.8%減となりました。

国庫支出金は、道路橋梁に伴う工事の減少等により約700万円減(4.0%減)、町債(借入金)は、1,160万円借入額を増やし、対前年度から35.7%増となりました。

寄附金については、昨年度同様にふるさと納税制度の見直しの影響(返礼品は寄附額の3割以下、地場産品に限る)を受けながらも、地元業者の努力等で、前年同額と見込みました。

歳入 表 I

種類	款 別	令和3年度予算額 (千円)	令和2年度予算額 (千円)	増減率 (%)	構成比 (%)
自主財源	緑入金	453,712	650,679	△ 30.3	14.7
	町税	585,135	592,847	△ 1.3	18.9
	寄附金	100,157	100,157	0.0	3.2
	諸収入	55,836	56,482	△ 1.1	1.8
	繰越金	67,052	49,843	34.5	2.2
	使用料及び手数料	19,408	21,097	△ 8.0	0.6
	財産収入	10,139	10,100	0.4	0.3
	分担金及び負担金	7,818	9,087	△ 14.0	0.3
依存財源	地方交付税	1,285,437	1,274,265	0.9	41.5
	国庫支出金	175,856	183,112	△ 4.0	5.7
	県支出金	176,271	168,718	4.5	5.7
	地方消費税交付金	66,332	64,303	3.2	2.1
	地方譲与税	36,481	42,096	△ 13.3	1.2
	町債	44,100	32,500	35.7	1.4
	環境性能割交付金	2,323	5,997	△ 61.3	0.1
	配当割交付金	1,664	1,664	0.0	0.1
	株式等譲渡所得割交付金	1,552	955	62.5	0.1
	地方特例交付金	3,856	827	366.3	0.1
	法人事業税交付金	1,340	739	81.3	0.0
	利子割交付金	530	530	0.0	0.0
	自動車取得税交付金	0	1	△ 100.0	0.0
	交通安全対策特別交付金	1	1	0.0	0.0
合計		3,095,000	3,266,000	△ 5.2	100.0

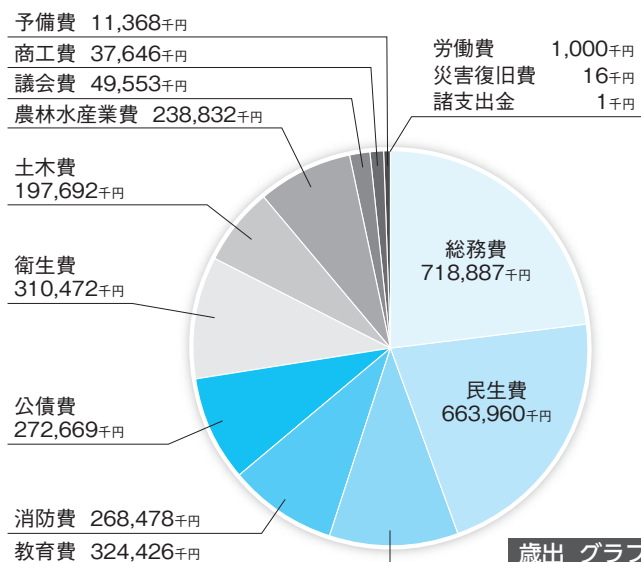
今後の経済状況等を予測すると町税等の大幅な増収は見込めず、また、施設の老朽化が類似団体と比較しても高く、一斉に施設の更新費用がかかることが予測され、施設の集約化もひとつの方法として検討していかねばならないと考えられます。他にも町が抱える過疎・少子高齢化の影響などによる課題は山積しており、今後一層厳しい財政状況が続くことが予想されます。

今年度も、将来の世代に負担をかけないように、地方債の借入を最小限に抑え、子ども・子育て支援の更なる充実に向け、事業を展開し、七宗町第5次総合計画の基本コンセプトである「住みたい 帰りたい 訪れたい 美しいまち ひちそう」の実現に向けて予算編成を行いました。

令和3年度
予算は、

一般会計 **30億9,500万円** (対前年比 -5.2%)
 特別会計 **16億7,438万円** (同 +5.0%)
 総 額 **47億6,938万円** (同 -1.9%)

以上の予算が、
3月定例議会で慎重に審議され
原案どおり可決されました。



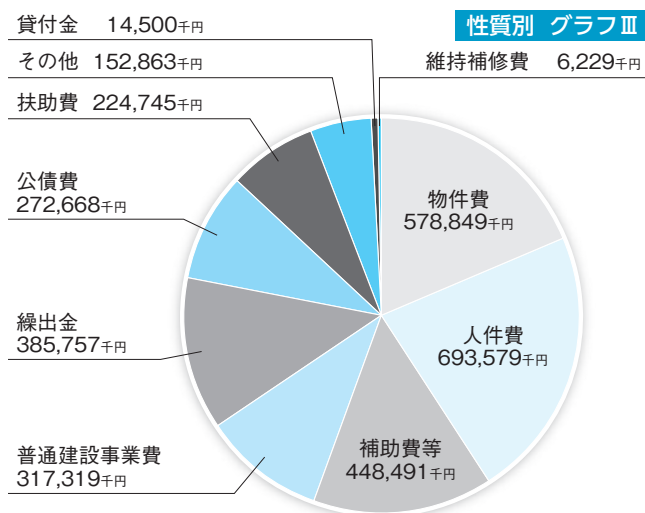
歳出 教育費は、昨年度実施の神湊コミュニティセンター空調設備更新工事が終了しことにより、対前年度比で約6,700万円減(17.2%減)消防費は、防災行政無線(同報系)デジタル化工事が最終年度になる為、事業費が抑えられたことにより、対前年度比で約5,300万円減(16.4%減)衛生費は、簡易水道会計繰出金の増額により、対前年度比で約4,300万円増(15.9%増)土木費は、工事請負費が大幅に減少し、対前年度比で約4,700万円減(19.1%減)となりました。

歳出 表Ⅱ

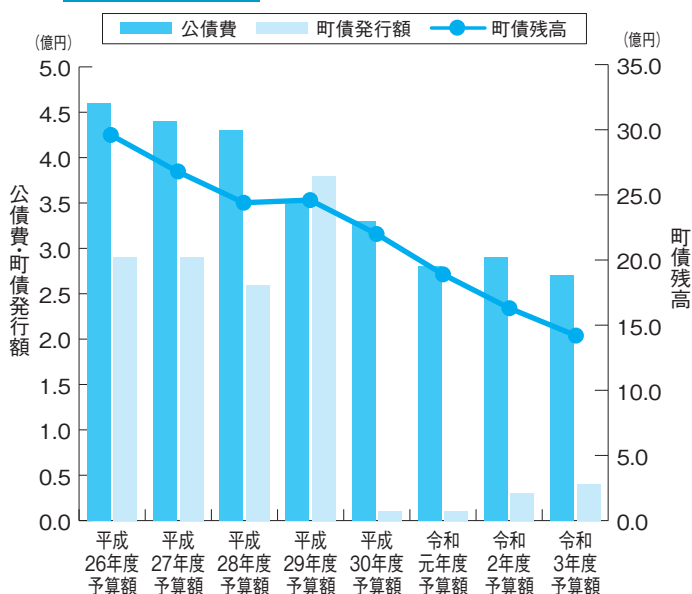
款 別	令和3年度予算額 (千円)	令和2年度予算額 (千円)	増減率 (%)	構成比 (%)
総 務 費	718,887	745,347	△ 3.6	23.2
民 生 費	663,960	672,542	△ 1.3	21.5
教 育 費	324,426	391,828	△ 17.2	10.5
消 防 費	268,478	320,986	△ 16.4	8.7
公 債 費	272,669	299,638	△ 9.0	8.8
衛 生 費	310,472	267,904	15.9	10.0
土 木 費	197,692	244,334	△ 19.1	6.4
農 林 水 産 業 費	238,832	227,321	5.1	7.7
議 会 費	49,553	49,207	0.7	1.6
商 工 費	37,646	35,432	6.2	1.2
予 備 費	11,368	9,622	18.1	0.4
労 働 費	1,000	1,000	0.0	0.0
災 害 復 旧 費	16	838	△ 98.1	0.0
諸 支 出 金	1	1	0.0	0.0
合 計	3,095,000	3,266,000	△ 5.2	100.0

性質別歳出予算では、補助費が前年度に比べ新婚さん新生活支援補助金の実施等により約800万円増(1.9%増)、普通建設事業費が前年度に比べ、町道落合葛屋線災害防除工事や神湊コミュニティーセンター空調設備更新工事等の大きな工事が終了したため、約1億9,500万円減(38.1%減)、義務的経費(※1)については、扶助費が約40万円増、人件費が約350万円増、公債費が約2,700万円減となり、対前年度比全体で約2,300万円減(2.1%減)となりました。

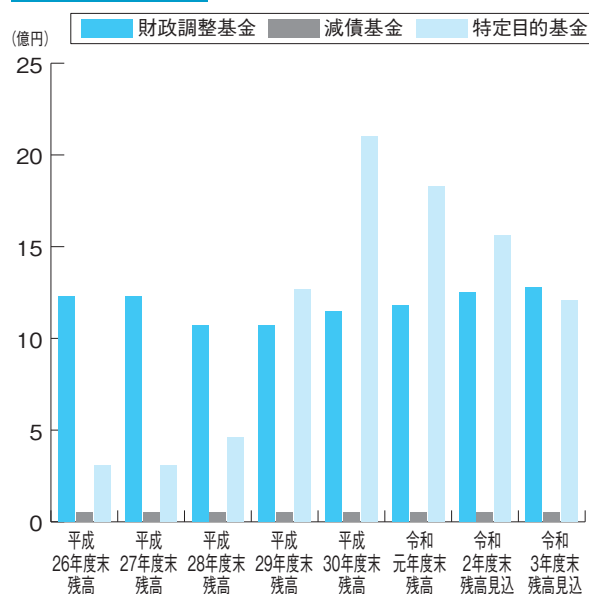
※1 義務的経費とは…人件費、扶助費、公債費の3つであり、制度的に義務づけられている経費のこと。



公債費 グラフⅣ



基金 グラフⅤ



令和3年度 特別会計予算

特別会計では、国民健康保険事業特別会計は対前年度から300万円増(0.6%増)、介護保険事業特別会計は、対前年度から600万円増(0.9%増)、後期高齢者医療事業特別会計は、対前年度から200万円減(2.6%減)、簡易水道事業特別会計は対前年度比8,200万円増(33.5%増)、下水道事業特別会計は、対前年度比1,000万円減(6.1%減)、神湊財産区特別会計は、対前年度比10万円増(5.3%増)、上麻生財産区特別会計及び中麻生財産区特別会計は対前年度と同額となり、特別会計全体では、対前年度比で7,910万円増(5.0%増)となりました。

特別会計 表Ⅲ

特別会計の名称	令和3年度予算額 (千円)	令和2年度予算額 (千円)	増減率 (%)
国民健康保険事業	474,000	471,000	0.6
介護保険事業	641,000	635,000	0.9
後期高齢者医療事業	75,000	77,000	△2.6
簡易水道事業	327,000	245,000	33.5
下水道事業	155,000	165,000	△6.1
神湊財産区	2,000	1,900	5.3
上麻生財産区	320	320	0.0
中麻生財産区	55	55	0.0
特別会計予算総額	1,674,375	1,595,275	5.0

令和3年度 一般会計予算の主な使い道

議会費

- 議会費
(議員報酬・手当など) 49,553 千円

総務費

- 財産管理費
(公共施設等総合管理計画更新支援業務、庁内自動電話交換機購入、屋外用分煙ブース購入費など) 172,577 千円
- 企画費
(移住・定住対策事業、林業就業移住支援金、地域おこし協力隊活動事業、ふるさと納税返礼品など) 114,692 千円
- 自主運行バス運営費
(バス停看板等作成委託・運行委託費用など) 42,149 千円
- 情報化機器管理費
(情報セキュリティ強化対策事業など) 58,319 千円

民生費

- 社会福祉総務費
(社会福祉協議会補助金、新婚さん新生活支援補助金など) 108,223 千円
- 福祉医療費
(障がい者、乳幼児、母子、父子への医療費助成事業など) 44,712 千円
- 心身障がい者福祉費
(障がい者自立支援・居宅介護給付費、地域生活支援事業など) 143,276 千円
- 児童福祉総務費
(幼児用補助装置購入費等補助金、育児給付金など) 7,902 千円
- 児童措置費
(児童手当交付事業) 37,380 千円

衛生費

- 予防費
(インフルエンザ、風疹ワクチン等予防接種費用、新型コロナウイルスワクチン接種費用など) 30,079 千円
- 母子保健事業費
(乳幼児内科・歯科検診、不妊治療助成費など) 4,939 千円

農林水産業費

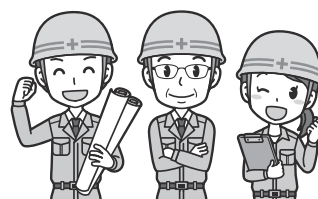
- 農業振興費
(野彩ひろば野菜等集荷業務委託事業、農作物鳥獣防除対策補助金、三年晩茶特産品化業務など) 15,929 千円
- 農業集落組織活動促進事業費
(中山間地域等直接支払交付金、多面的機能支払交付金など) 7,307 千円
- 林業振興費
(地域林政アドバイザー事業、間伐事業補助金など) 33,054 千円
- 土地改良事業
(県営中山間地域総合整備事業など) 28,308 千円
- 林道事業費
(高洞線路側修繕工事、釜洞桁洞線路側修繕工事など) 6,128 千円
- 狩猟運営費
(野生生物鳥獣被害防止助成金、鳥獣被害防止緊急捕獲対策事業など) 9,154 千円

商工費

- 商工振興費
(レッキープレミアム商品券補助金など) 24,451 千円
- 観光費
(夏祭りイベント負担金など) 9,885 千円

土木費

- 道路橋梁総務費
(県道可児金山線工事負担金など) 4,802 千円
- 道路維持費
(町道下市場葉津線舗装修繕工事など) 50,395 千円
- 橋梁維持費
(第1号橋、追洞橋修繕工事など) 61,820 千円
- 橋梁新設改良事業費
(寺前橋改良工事など) 12,500 千円

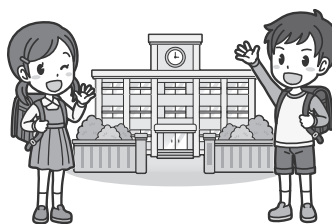


消防費

- 非常備消防費
(消防団員報酬など) 27,115 千円
- 消防施設費
(消火栓用ホース購入費、小型動力ポンプ付積載車購入費など) 108,493 千円
- 災害対策費
(七宗町地域防災計画等更新支援業務委託料、被災者生活・住宅再建支援補助金など) 17,811 千円
- 無線管理費
(防災行政無線(同報系) デジタル化工事など) 115,059 千円

教育費

- 義務教育振興費
(小中学校入学祝金、ICT支援員委託料、外国語指導業務委託事業など) 22,690 千円
- 小学校管理費
(電子黒板等一式購入事業、通級指導教室仕切り棚取付工事など) 31,233 千円
- 中学校管理費
(電子黒板等一式購入事業など) 31,677 千円
- 社会教育総務費
(社会教育委員報酬など) 22,338 千円
- 木の国七宗コミュニティセンター費
(外壁改修工事、通路修繕工事など) 37,651 千円



問い合わせ 七宗町役場 総務課 財政係
担当：加納 雅也、長谷部 勇典
☎48-1111 (内線120)

みのかも定住自立圏第3次共生ビジョンを策定 ～ 住み続けたい 住んでみたいまち ～

さまざまな課題を解決するために、まちとまちが互いに協力し合いながら地域を守り育てていくのが定住自立圏です。

この度、「みのかも定住自立圏第3次共生ビジョン」を策定しましたので、今後5年間で取り組む内容を紹介します。



● 定住自立圏構想とは？

私たちの暮らす中山間地では、人口減少と少子高齢化が進んでいます。このような状況を踏まえ、安心して暮らせる地域を形成し、地方圏から3大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、地方圏への人の流れを創出することが求められています。

市町村の主体的取組として「中心市」の都市機能と「近隣市町村」の農林水産、自然環境、歴史、文化などの魅力を活用して、相互に役割分担し、連携・協力することにより、地域住民の暮らしを守るため圏域全体で必要な生活機能を確保し、地方圏への人口定住を促進する政策です。

● みのかも定住自立圏

美濃加茂市が平成21年に中心都市宣言を行い、加茂郡内の町村と順次協定を締結（七宗町は平成23年に締結）し、圏域を形成しました。

みのかも定住自立圏は、それぞれの市町村が持つ強みを活かし、弱みを補完しながら、圏域を活性化させ、「住み続けたい、住んでみたいまち」と思えるエリアを目指しています。

● この5年間で目指すもの

美濃加茂市と加茂郡それぞれがもつ「人」「暮らし」「文化・伝統」「自然環境」などのさまざまな資源や機能がつながることで生まれる魅力を、圏域が一体となって守り、未来に向けて成長させていくことで、若者たちが圏域に愛着を持ち、将来、圏域の担い手として活躍できるような若者の定住を進めます。

また、連携市町村がそれぞれの役割を担い、ヒトやモノを圏域内で循環させることにより、経済的に自立した力強い圏域を作っていきます。

そして、国籍、文化などの違いを超え、一人一人がお互いを理解し、認め合うことができる地域を目指します。

● 共生ビジョンの基本方針

第3次共生ビジョンでは、圏域にとって今作り始めなければならない「足腰となる土台」部分を重点的に取り組みます。

住民の心身の「健康」、今後を担う「未来のヒトづくり」（人材育成）、生活に必要な移動手段「公共交通」、自然災害への備え「防災」、経済の活性化に働き手としても必要な「外国人住民の定住」の5つの視点を重点分野として位置付け、それぞれの分野に具体的なテーマを掲げ、取り組みを展開していきます。

みのかも定住自立圏第3次共生ビジョン 5つの重点分野

健康

「私は健康です」って言えますか？

おいしくご飯を食べる。好きなところに旅行に行く。人それぞれ、健康の考え方は違うけど、一緒なのは好きな時に好きなことができること。

そんな思いを叶えるきっかけづくりを進めていきます。

関連事業 ウォーキングイベント、健康に関するデータの分析、24時間電話相談窓口、休日急患診療、心身に障がいのあるこどもの療育、福祉・医療サービス事業所の情報提供



未来のヒトづくり

「生まれ育ったまち」を意識したことがありますか？

豊かな自然や魅力あるまちを守っていくには人がいなければいけません。それを次の世代に伝えなければいけません。そのためにまちを好きになってくれる人を増やすことが大切。それがまちの未来につながっていきます。

関連事業 里山体験・里山暮らしの聞き書き、里山の担い手育成、里山の情報発信、三年晩茶の製造、川の暮らし体験、地域メディアによる魅力発信



公共交通

あなたの生活にバスと電車はありますか？

買い物に行こうとしたとき、学校へ行こうとしたとき、病院に行こうとしたとき、行きたいところにいけますか？

こどもからお年寄りまでがバスや電車ででかけられるまちを目指します。

関連事業 コミュニティバスの運行、web上でバスの経路検索ができるデータ整備、それぞれのバスの乗り継ぎやすさの改善



防災

身近に感じていますか？

世界のどこか、日本のどこかで地震が起きる。もしかすると自分の近くで起きるかもしれない。そんな時あなたは自分を守る準備ができていますか？家族を守る準備ができていますか？

小さな意識から身を守るきっかけを伝えていきます。

関連事業 災害時に活動できる人材の育成、誰もが参加したくなる防災イベント、災害時の圏域職員の連携整備、防災士養成



外国人定住

外国人はパートナー、助け合っていますか？

一緒に暮らす外国人住民が増えている。そんなパートナーたちが地域で活躍し、一緒に地域を支えていけるといいな。

分かりあい、地域を支える仲間として、わたしたちと一緒に助け合えるよう応援していきます。

関連事業 行政情報の翻訳や通訳窓口、災害時の通訳ボランティア育成、のぞみ教室(日本語学習支援、生活・就学支援)



七宗町権利擁護センターをご存じですか？

七宗町では、認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない人への権利擁護支援の中核機関として「七宗町権利擁護センター」が設置されています。

権利擁護とは？

私たちは、毎日たくさんのことを自分の意思で決めて生活しています。しかし、認知症や障害などで判断能力が不十分な状態になると、介護サービスや施設入所のための契約、不動産や預貯金などの財産の管理を自分で行うことが難しくなります。そのような方が、不利益な契約をしてしまうことを防いだり、その人らしい暮らしを続けるため、権利をまもることが「権利擁護」です。

権利擁護センターではこんな支援をします

- 高齢の親が自分で財産を管理できなくなってきた
- 契約書を読んでも理解できない。自分に不利な契約なのか分からない
- 自分に必要な介護・福祉サービスが分からない
- 障害のある子どもの将来が心配
- 頼れる親族がないので今後は心配

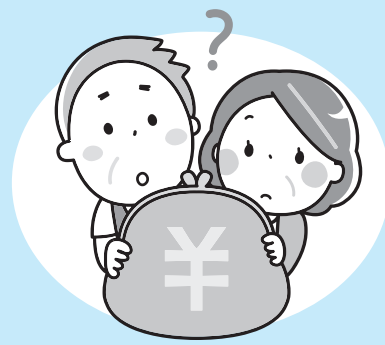
権利擁護センターでは、上記のようなご相談を受け付けています。困りごとを一緒に考え、成年後見制度や介護・福祉に関する制度をご案内しています。皆さんの不安を一つでも安心に変えるサポートをさせていただきます。



契約内容が
分からない



自分に必要な介護・福祉サービスが
分からない



お金の管理が
難しい



頼れる親族がない…
今後は心配



障害のある子どもの
将来が心配

成年後見制度とは？

認知症や知的障害、精神障害などで判断能力が不十分な状態になると、不動産や預貯金などの財産を管理したり、介護などのサービス利用や施設入所の契約手続きを自分で行うことが難しくなります。そういった方の日常生活や財産、権利を保護し支援する制度です。

● 法定後見と任意後見

成年後見制度には、法定後見制度と任意後見制度の2種類があります。

● 法定後見制度

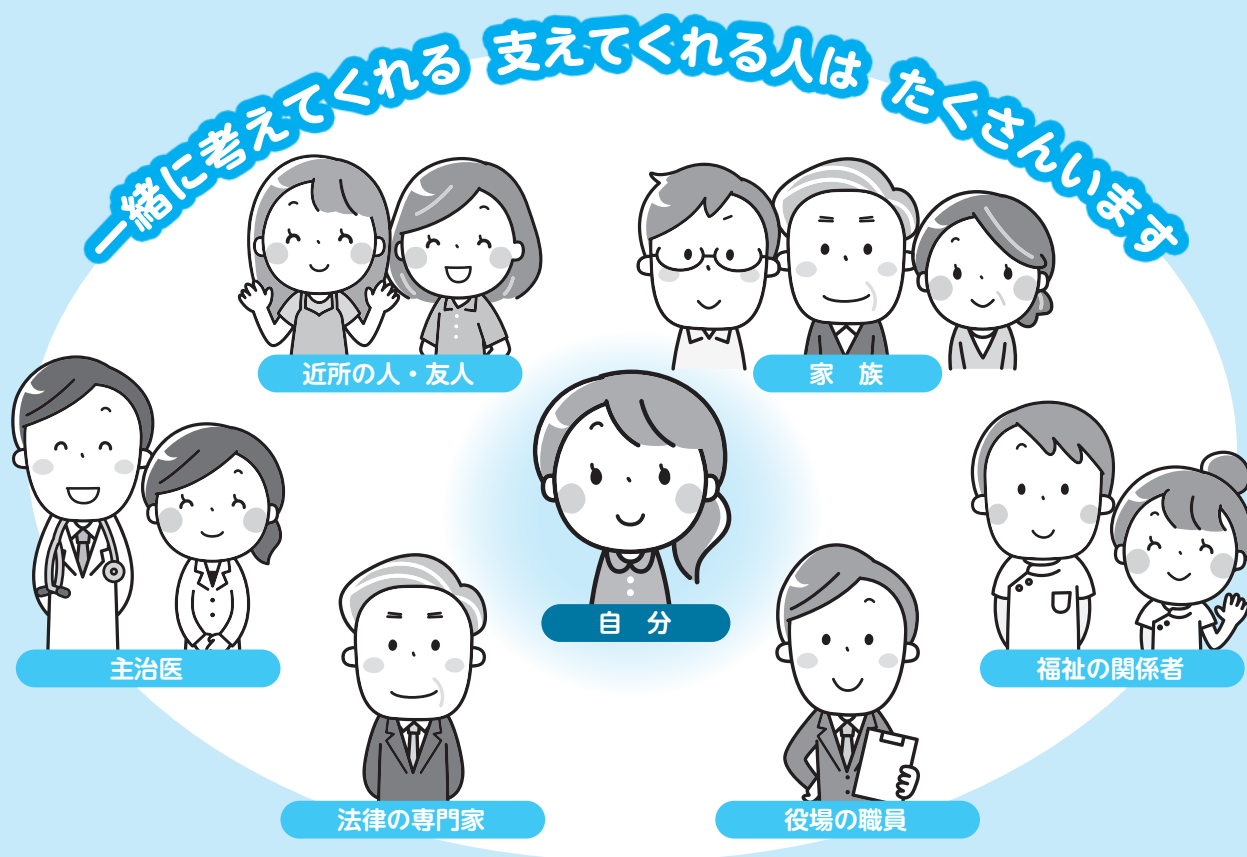
家庭裁判所に申立てを行い、成年後見人を選任する制度です。本人の判断能力によって「後見」「保佐」「補助」の3種類に分類されます。成年後見人が、本人に代わって財産管理や介護サービス利用の契約等を行います。

● 任意後見制度

将来に備えて、自分で成年後見人を選んでおくことができる制度です。あらかじめ、公正証書により成年後見人となる人と契約を結び、判断能力が不十分になった時に、家庭裁判所に申立てると支援が開始します。

● 成年後見人ができないこと

直接的な世話(食事の世話や身体介護)、入院や賃貸借の保証人・身元引受人、手術の同意



お気軽に
ご相談
ください

受付時間 午前8時30分～午後5時15分
(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)

相談窓口 住民課・福祉係 0574-48-1112
地域包括支援センター 0574-48-2046
サンホーム七宗 0574-46-1294

3月

10

神淵小学校 日教弘教育賞の受賞

神淵小学校が公益財団法人 日本教育公務員弘済会より日教弘教育賞の奨励賞を受賞しました。「主体的に学び 考えをつくり出し 表現する子の育成」を主題として、1, 2年生の国語科、3～6年生の理科での実践研究を長年実施してきた成果となりました。



3月

10



吉田 匠さん 酒井友己さん

岐阜県教育長表彰伝達式

役場にて、岐阜県教育長表彰伝達式が行われ、吉田匠さん(本郷)と酒井友己さん(本郷)が岐阜県教育長表彰を受けられました。こちらは第20回全国中学生創造ものづくり教育フェア(令和2年1月25日、26日開催)にて吉田さんは「全日本中学技術・家庭科研究会会長賞」、酒井さんは「文部科学大臣賞」という優秀な成績を収めた栄誉を称えての表彰となります。

3月

23

全国高等学校選抜ボート大会出場

浜松市天竜ボート場にて3月27日、3月28日に開催された第32回全国高等学校選抜ボート大会の舵手つきクォドルプルの種目に出場する亀山楓真さん(牛ヶ洞)が大会を前に町長を表敬訪問しました。亀山さんは「全力を尽くして精一杯頑張ります。」と抱負を述べられました。



3月

24



上麻生小学校・神淵小学校 胸花の受贈

上麻生小学校、神淵小学校の令和3年に卒業する6年生の児童に対して、大矢良平さん(本郷)から卒業式の時に付ける胸花が贈呈されました。この胸花は折り紙で一つ一つ丁寧に手作りされたもので、とても精巧なバラの花を模していました。6年生の児童は、「ありがとう」というオリジナルソングを歌い、一人一人のお礼の手紙を渡し、大矢さんに感謝の気持ちを伝えると、大矢さんはにこやかな表情を浮かべ、嬉しそうに受け取られました。

3月

24

全国高等学校男子ソフトボール選抜大会出場

和歌山県紀の川市で3月26日から3月29日まで開催された第39回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会に出場する長谷川壱星さん(本郷)が大会を前に町長を表敬訪問しました。長谷川さんは「全国トップレベルのチームと当たりますが、練習で積み重ねたことを全力で発揮して戦ってきます。」と抱負を述べられました。



3月

29



新町長初登庁

加納福明新町長が初登庁され、町長の登庁を役場職員、レッキー君、レッキーちゃん、五つ子で出迎えました。加納町長は職員に対し「報告・連絡・相談」「5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)」「現状に甘んじず常に改善を図る」の3つを徹底してくださいと訓示し、七宗町は新たなスタートを切ることになりました。